

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス ふうせん			
○保護者評価実施期間	R7年 1月 10日		～	R7年 2月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数)	15
○従業者評価実施期間	R7年 1月 10日		～	R7年 2月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 2月 27日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別対応等の子どもたちへの対応力とチームワーク	子どもたちの感情の高ぶり時やトラブルの際には職員がうまく集団から離し、個別対応することで困り感や要求を整理するようにしています。朝礼や頻繁な会議により共通の情報理解と支援の統一性を目指しています。	職員それぞれの資格や経験、立場から子どもだけではなく、家族や周りの人たちも支援できれば…と思っています。
2	多機能型事業所としての児童発達支援からの切れ目のない支援	児童発達支援に通所している頃から、通学練習や就学を見据えた支援に加えて、子どもたちの安心できる居場所としての事業所運営を行っています。	切れ目のない支援を生かしながら、児童発達支援、放課後等デイサービスのそれぞれの質の向上や療育内容のブラッシュアップを継続していきます。
3	子どもに合わせた部屋の配置や教材の整頓、動線を考慮した環境作り	事業所内を改装し、子どもたちが来所してから手洗い、宿題、活動、余暇と動線を意識した環境作りを行っています。また、集団生活における物の取り扱いなどのためにも教材等の収納や整理についても留意しています。	継続した環境維持や改善を行いつつ、事業所周辺の交通等の安全の確保やユニバーサルデザイン化も検討していきます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定されているが、定期的な保護者への周知・説明が不足している。	策定済みでマニュアル化されており、法人内で事業所から担当職員を決定し、会議研修を行い、保護者への周知も行っていましたが、機会が少ないと思われます。	ホームページ、事業所通信、法人通信、各家庭のLINEグループでの周知徹底や見える化を意識した活動を行っていきたいと思います。
2	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会について、保護者からの満足度が低い。	法人内では合同で季節行事や親子イベント、餅つき、おまつり開催にも取り組んでいますが、周知が不十分なことが要因と考えられます。	行事やイベントも事業所周辺で開催することにより、地域の子どもたちとの関わりも期待できると思います。また周知の強化にも取り組んでいます。
3			